

米軍基地環境カルテ

キャンプ・ハーディ（施設番号：FAC6014）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目 次

12. キャンプ・ハーディ（施設番号：FAC6014）	1
12.1 基本情報	1
12.1.1 名称	1
12.1.2 所在地、広さ（施設面積）	1
12.1.3 施設の概要等	1
12.1.4 施設の管理及び用途	1
12.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	1
12.1.6 土地利用規制図	2
12.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	2
12.2.1 基地等の土地の状況	2
12.2.1.1 地形分類図	2
12.2.1.2 表層地質図	2
12.2.1.3 土壤図	2
12.2.1.4 切盛土分布図	2
12.2.2 基地内の施設の使用状況	2
12.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	2
12.2.2.2 施設等使用履歴	2
12.3 基地等の環境状況	3
12.3.1 自然環境（植物）	3
12.3.1.1 現存植生図	3
12.3.1.2 植生自然度図	3
12.3.1.3 特定植物群落	3
12.3.1.4 重要な種、貴重な種等	3
12.3.2 自然環境（動物）	3
12.3.2.1 重要な種、貴重な種等	3
12.3.3 水利用状況	4
12.3.3.1 水利用状況	4
12.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	5
12.3.3.3 河川及びダムの分布状況	6
12.3.4 地下水の状況	6
12.3.4.1 地下水基盤面等高線図	6
12.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	7
12.4.1 事故等の概要	7
12.4.2 事故等発生場所	7
12.5 環境調査を実施する場合の留意事項	7
12.6 その他情報	7

12.7 環境等に関する通常監視について	8
----------------------------	---

12. キャンプ・ハーディ（施設番号：FAC6014）

12.1 基本情報

12.1.1 名称

キャンプ・ハーディ（施設番号：FAC6014）

12.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和 47 年 5 月 15 日>

所在地：宜野座村字松田

広さ：約 267,100 m²

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15 メモ等）（仮訳）」（1972 年 5 月）

（http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf）を参照

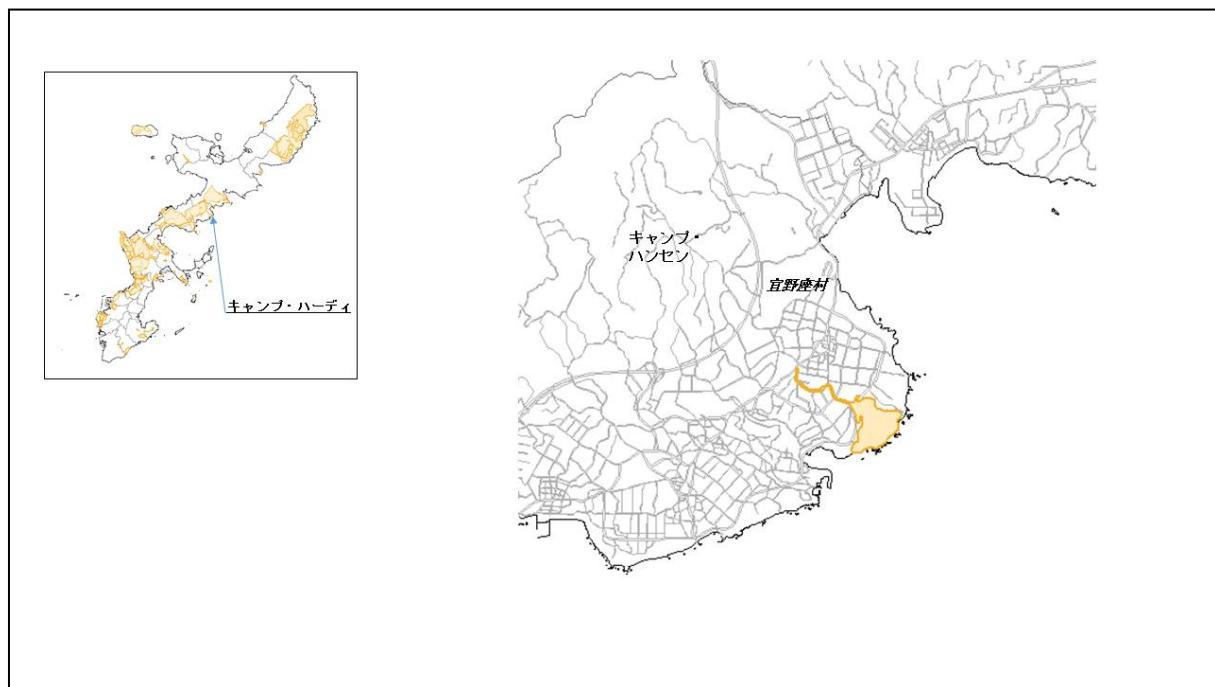


図 12-1 キャンプ・ハーディの位置図（昭和 47 年時）

12.1.3 施設の概要等

昭和 50 年 3 月 31 日、全部返還。

12.1.4 施設の管理及び用途

昭和 50 年 3 月 31 日、全部返還。

12.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

返還跡地には国際交流村が建設されている。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

12.1.6 土地利用規制図

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の土地利用規制図を図面集「土地利用規制図B」に示す。

12.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

12.2.1 基地等の土地の状況

12.2.1.1 地形分類図

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の地形分類図を図面集「地形分類図B」に示す。

12.2.1.2 表層地質図

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の表層地質図を図面集「表層地質図B」に示す。

12.2.1.3 土壌図

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の土壌図を図面集「土壌図B」に示す。

12.2.1.4 切盛土分布図

キャンプ・ハーディ跡地の切盛土分布図は作成されていない。

12.2.2 基地内の施設の使用状況

12.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

キャンプ・ハーディの施設配置図は確認できなかった。

12.2.2.2 施設等使用履歴

昭和 27 年 8 月 1 日 使用開始。

年月日不明 米陸軍アジア地域援助第一特殊部隊（グリーンベレー）の多目的訓練場として、原子砲の実射訓練や各種の火器類、実弾演習等に使用。

昭和 47 年 5 月 15 日 「キャンプ・ハーディ」として提供開始（使用主目的：訓練場）。

昭和 49 年 6 月 第一特殊部隊（グリーンベレー）が解散。その後は海兵隊の訓練場として使用。

昭和 50 年 3 月 31 日 全部返還。

出典：「沖縄の米軍基地関係資料」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部涉外課）、

「沖縄の米軍基地」（平成 50 年 2 月、沖縄県涉外部基地涉外課）、

「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

<主要建物及び工作物>

建 物：食堂、一般訓練所、火薬貯蔵庫、その他仮小屋等

工作物：進入道路（巾 6 m、長さ 318m）、上下水道施設、配電装置、バスケットコート等

出典：「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部軍用地転用対策室）より引用

12.3 基地等の環境状況

12.3.1 自然環境（植物）

12.3.1.1 現存植生図

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の現存植生図を図面集「現存植生図B」に示す。

12.3.1.2 植生自然度図

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の植生自然度図を図面集「植生自然度図B」に示す。

12.3.1.3 特定植物群落

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年3月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

12.3.1.4 重要な種、貴重な種等

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）は確認できなかった。

出典：「～平成27年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

12.3.2 自然環境（動物）

12.3.2.1 重要な種、貴重な種等

キャンプ・ハーディ跡地のある宜野座村で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は37種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針〔沖縄島編〕」（平成10年2月、沖縄県環境保健部自然保護課）を参照

12.3.3 水利用状況

12.3.3.1 水利用状況

沖縄県企業局による、沖縄島及び周辺の水利用状況を図 12-2 に示す。

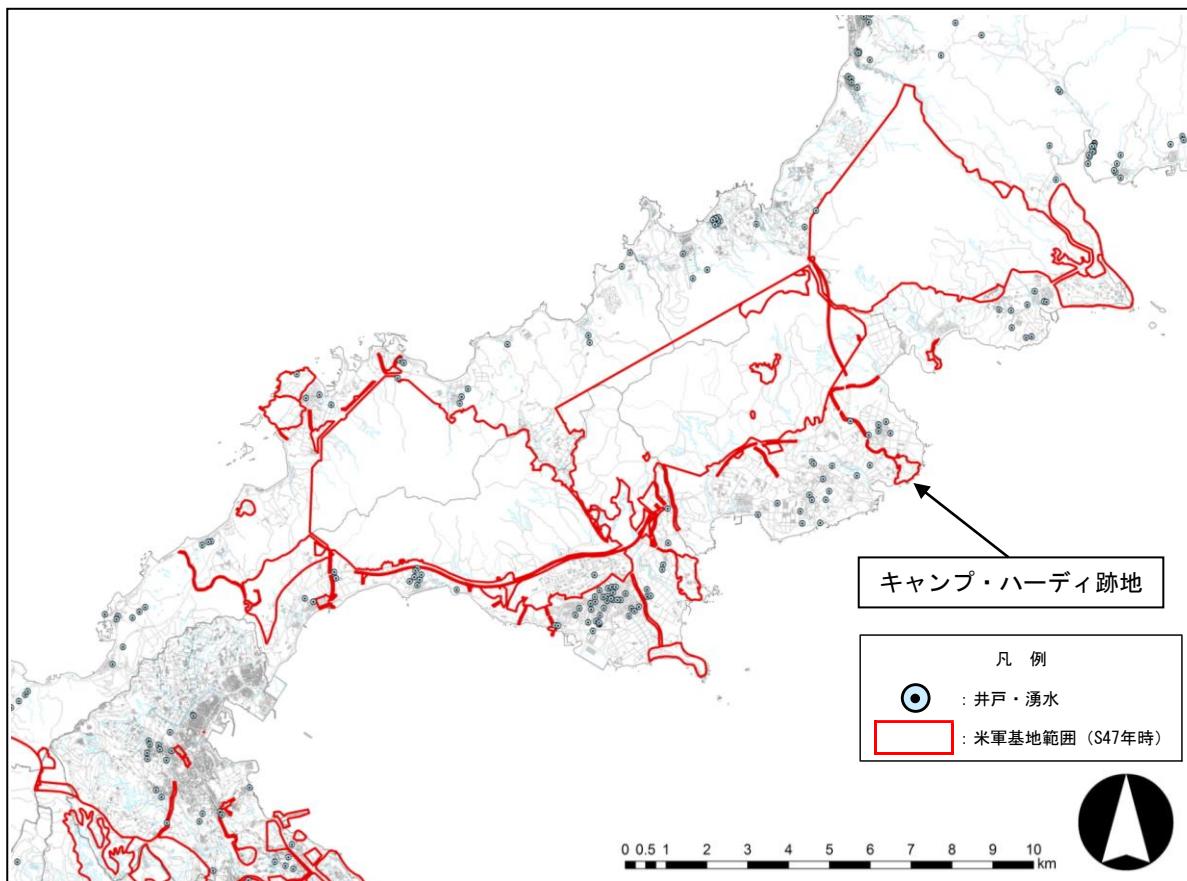


出典：「2015<平成 26 年度決算版> 環境報告書」（平成 28 年 3 月、沖縄県企業局配水管理課）を参照

図 12-2 沖縄島及び周辺の水利用状況

12.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 12-3 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平成 29 情使、 第 269 号）」

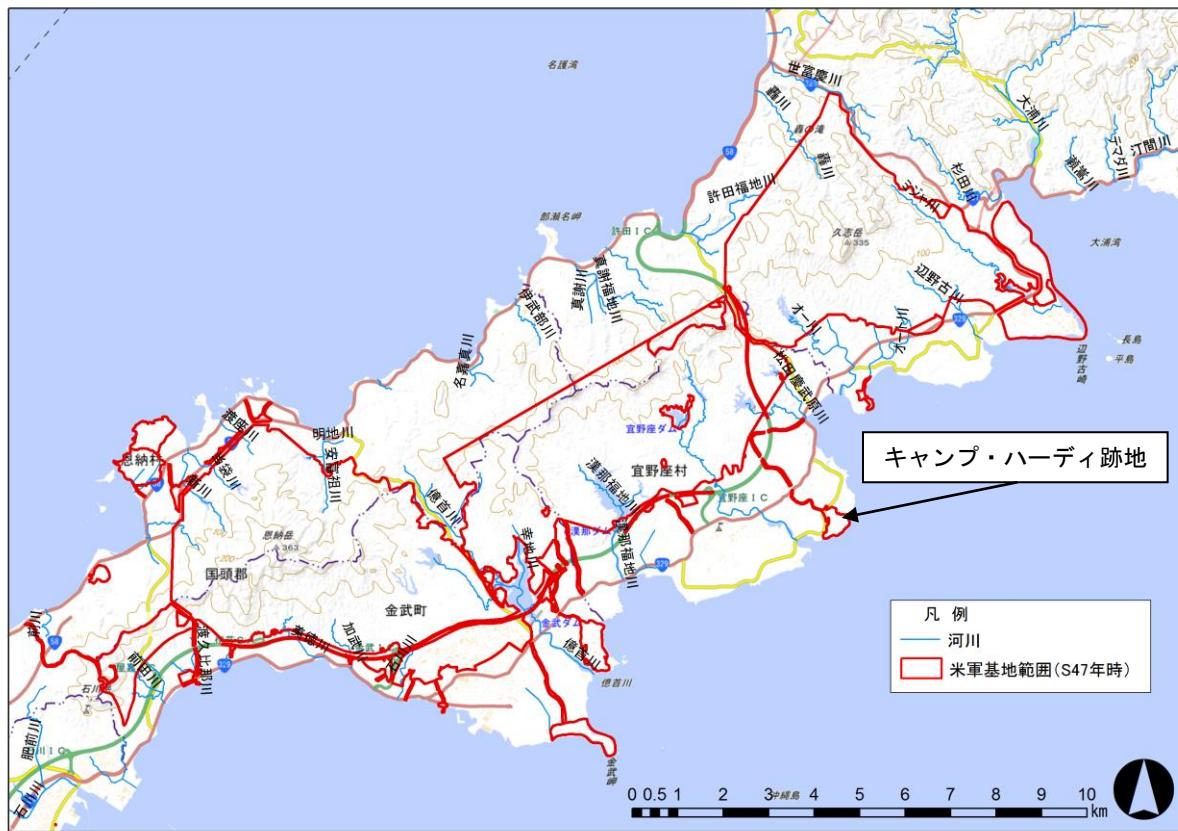
注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、
活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 12-3 キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況

12.3.3.3 河川及びダムの分布状況

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の河川、ダム分布状況を図 12-4 に示す。キャンプ・ハーディ跡地及び周辺に、二級河川、準用河川、国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、 第 301 号）」
出典：「国土地理院地図（平成 29 年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、

「沖縄の米軍基地関係資料（地位協定に基づく提供施設）」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部）、

「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部）を参照

図 12-4 キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の河川、ダム分布状況

12.3.4 地下水の状況

12.3.4.1 地下水基盤面等高線図

キャンプ・ハーディ跡地及び周辺の地下水基盤面等高線図を図面集「地下水基盤面等高線図 B」に示す。

12.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

12.4.1 事故等の概要

キャンプ・ハーディ及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の情報は、「沖縄の米軍基地」（沖縄県）、「環境白書」（沖縄県）では確認できなかった。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 15 年 3 月、沖縄県基地対策室）、
「沖縄の米軍基地」（平成 20 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
「環境白書【平成 24 年度報告】」（2014、沖縄県環境部環境政策課）、
「環境白書【平成 25 年度報告】」（2015、沖縄県環境部環境政策課）、
「環境白書【平成 26 年度報告】」（2016、沖縄県環境部環境政策課）を参照

12.4.2 事故等発生場所

キャンプ・ハーディ及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

12.5 環境調査を実施する場合の留意事項

特になし。

12.6 その他情報

沖縄県が、米国立公文書記録管理局 (National Archives and Records Administration, NARA) (以下、「NARA」と言う。) で収集した在日米軍関係資料のうち、キャンプ・ハーディ及び周辺に関する環境関連情報の概要を表 12-1 に示す。

キャンプ・ハーディ及び周辺については、以下に関する資料が確認された。

表 12-1 キャンプ・ハーディ及び周辺に関する環境関連情報の概要 (NARA 収蔵)

年月日	場所	資料の種類	概要
1957 年 8 月 17 日	射撃場	文書	松田射撃場に第 22AAA (Anti Aircraft Artillery: 対空砲隊) が移動した。松田射撃場での射撃訓練の写真が掲載されている。
1957 年 12 月 7 日	Honest John (MGR-1: 核 弾頭搭載地 対地ロケット 弾)	文書	Honest John (MGR-1: 核弾頭搭載地対地ロケット弾) が松田射撃場で発射された (デモンストレーション) 写真。
1955 年 8 月 2 日 1963 年 8 月 15 日	射撃場	写真	松田射撃場での対空砲の演習、破壊演習の写真。
1962 年 6 月 19 日	射撃場	文書	射撃訓練に関する通知。1962 年 6 月 23 日に金武村東海岸のギンバル演習場と宜野座村の松田演習場において、海洋に向けての射撃演習が予定されていることを周辺の村々に通知したことが記されている。
1969 年 3 月 17 日	射撃場	文書	沖縄における演習区域に関する資料。陸軍と海兵隊が、松田 - ギンバル射撃場 (Matsuda - Ginbaru Range) を小型武器と大砲射撃演習のために使用することが記されている。
1958 年	演習範囲	図	旧米国陸軍地図局 (U. S. Army Map Service : AMS) 作製の地図。キャンプ・ハンセンの演習範囲が記されている。

注：一部の原文には、Matsuda - Ginbaru Range と松田射撃場とギンバル訓練場が一体の射撃場として記載されているものがあることから、本表は松田射撃場を含むキャンプ・ハーディ (FAC6014) とギンバル訓練場 (FAC6017) には同じ情報を掲載している。

12.7 環境等に関する通常監視について

キャンプ・ハーディ及び周辺において、沖縄県による環境等に関する通常監視は行われていなかった。

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、
 「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、
 「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照